



## 草花の播種に就て

東京女子高師助教諭 大 岩 金

此頃よく家庭園藝と申します言葉が耳に致しますが、文化の程度の進みますにつれて毎日私共の生活からはなれる事の出来ない住宅におきまして従前と異なり自分の起居する家は設計も自分で都合のよいやうに考慮をめぐらすと云ふやうになつて參りました。又その廣がりである庭園におきましては是迄は所謂庭師なるものに一任致して居りました。又その目的は客を主として専ら觀賞に供したのであります所が只今では段々とその趣きを異にし自ら種々工夫をこらして設計し且つ之を家族共同して作るといふやうになりました。従つ

て庭は觀賞に資するばかりでなく、實用方面に大なる貢獻をするやうになりました。即ち健康を増進し、趣味の向上をはかり、或は又一方野菜の栽培等經濟的にもなり、やがては一家團圓の樂園と申すやうなことにもなります。

特に最も自然に近く、又自然に親しむことを好む幼児の保育には、この家庭園藝なるものは、誠に必要なものかと存じます。

もはや寒さも段々とうすらぎまして、庭の草木も芽をふくらまし、彼方此方にも沈丁花、連翹などその美を競つて居ります。私は茲に最も容易に

着手出来まして、而も丁度本月下旬頃から行はれます。まず草花の播種に就て未熟ではありませんけれども経験致しましたものゝ中から少し述べることに致します。

## 一、床の造り方

### イ、苗床の種類

A、圃場利用の場合、苗床は元來移植を必要とする草花、苗の幼稚な間に特に保護を要することの多いもの、本圃と致します花壇が他のもので利用せられてゐる場合等に多く用ひられます。

そして是に温床と、冷床との別があります

一、温床とは人工によりまして温熱を供給する苗床でありまして、多く馬糞、落葉、藁稈などを堆積致しましてその發酵熱を利用致します。

二、冷床とは専ら天然の温熱を利用し、少しも人工を以つて温熱を加へることのないものを云ひ

ます。

1、床は南面した暖かな所を選びまして、東西に長く南北に短かく凡そ三四尺の巾に致しまして兩側から中央に手の届く範圍の廣さに致します。

2、丁寧に耕して土を徹さく碎きます。

3、上層の土は更に篩にかけます。そして播種する種子が小さい程此の土も小さくすることが必要であります。苗床の土は地面から約四五寸高く盛り上げます。(篩の目には五分目、三分目、一分目等種々ありますから適宜にそのいづれかを用ひ、尙篩ひ残りの荒い所は下の方に入れるなり、又鉢蒔に致します時にその下層に入れてもよろしいのであります)

4、平に均らし、充分に鎮壓致します。

B、鉢及箱利用の場合には種子の極少量である時は貴重な種子、又は極小さな種子の場合に用ひられてまして是等を利用致します時は小規模であり

ますから、持運びが容易でありまして、又管理もよく行届きます。

播種用の鉢は播子蒔鉢と申しまして普通素焼の平焼でそれに圓形や方形があります。そして鉢底には澤山の排子孔があけてあります。

然し特別にこんな鉢を購入しないでも隨時木箱の空いたのを利用してればそれで結構であります。

今蜜柑箱を利用して種子蒔箱を作りませう。

先づ箱の中央を二つに横斷致しまして、次に上の方へは蓋を打付けますれば即座に上等の二つの種子蒔箱が出来上ります。是には特に排水孔をあける必要はありません。粗雑に作られて居りますから充分排水は出来ます。さて是に蒔きますには

- 1、底の方へ石ころや瓦のかげなどを入れて排水をよく致します。
- 2、その上に篩ひ残りの荒い土を入れます。
- 3、更に上層に細い土を入れます。又この土は砂

に致します場合も砂と土と等分に交せ合せる事もあります。いづれに致しましても鐵又は箱の深さの八分目位土を入れて上を明けておきます。それでありませんと、灌水致しまして直に水が鉢外にあふれて仕舞ひます。

4、適當に鎮壓致します事は圃場利用の場合と同様であります。

## 二、種子の選擇方法

種子の良否は植物の發育に非常な影響を及ぼすものでありまして、もし不良の種子でありますと折角の丹精も徒勞に歸してしまふやうなことになるからよく注意しなければなりません。特に種苗店等から種子子を頼入する場合には充分信用のある商店を選ばなければなりません。而して善良な種子とはどんなものであるかと申しますと。

- 1、純正であること。即ち希望する植物及品種で

あることでもあります。

2、清潔であること。色々の雜物の混つてゐないことでもあります。

3、適當な熱度であつて、而も新鮮なものでなければなりません。

4、重大で、固有の形を持ち、且つ色澤の一様であることなどがあります。

以上は大低肉眼で鑑識することが出来ずから簡単な鑑別方法かと存じます。尙この外に發芽試験器を用ひまして發芽歩合を試すなどの方法もありますがこゝには略します。

附・善良な種子は大體右のやうな條件を具へたものでありますから、家庭に於て採種致しますにしても一種類宛袋なり器なりをわけまして他と混交しないやうにしておかねばなりません。雜種の出来るのを防ぐには同一種類を一ヶ所に集めて栽培するのも一方法であります。

## 三、播種方法

### 1、床 播

A、圃場利用の場合苗床の準備が出来まして、よい種子も選べましたら、次には播種するのであります。その方法は、

1、大粒のものはそのままにして、小粒のものは之に砂を混ぜて量を多く致します。

2、そして成可く厚薄のないやうに。

3、大粒のものほど粗く床一面に撒播に致しますのを普通と致します。

然し數種を同じ床に蒔きますには他と混交しないやうに、特に條播に致しますか、それでないれば竹とか、棒切とか、繩とかで區劃をつけておいた方がわかり易くてよろしいとございます。そして木札に花名と播種月日とを印して一區劃毎に立て

おきますれば後日の参考になります。

4、覆土は通常種子の二倍半と云はれて居ります

然し之は一概には申されませんが、地質や、乾濕の工合、或は植物の種類によりまして參樹しなければなりません。即ち乾燥地にありましてはかなり澤山覆土しなければなりませんし、又粘土質の所では砂地よりも少なく覆土致すのであります又ロベリアのやうな極細かい種子には特別に覆土は致しませんやうなものもあります。

5、その上をかくたくまきつけておきます。

B、元來此の場合鉢及箱利用の場合、は貴重な種子、或は發芽困難なもの及種々の試験等に使用される方法でありますが、家庭的に極めて少量の種子を播種する時に使用致しますにも適した方法であります。でありますから播種の方法等も、殆ど一粒宛床の上に置き、覆土なども最も集約に行はれると云ふやうな場合に行はれます。

## ロ、直 播

多くの草花は一度苗床に播種致しまして、一定の大きさになつて始めて本圃に植え出すのであります。中に移植を好まぬものとか、極粗放な作り方で別に苗床を使用する必要のない場合に、開花させやうとする場所に直ちに播種する場合の蒔き方を直播と申します。そして播種方法に三通りあります。

A 撒播、地上一面に撒布する方法であります。苗床には多くこの法によつて播種致しますけれども直接にはあまり行はれません。即ち種子を多量に要し、發芽後の手入もよく出来ませんし、又空氣の流通なども悪くそのために發芽後の發育状態も思はしくありませんなど色々の缺點があります。

B 條播、一定の距離をおいて浅い溝を作りその溝内丈に播種するのであります。撒播に比べますと空氣の流通の點から申しましても、手入の難易か

ら申しましたも遙かに勝つて居ります。しかし尙同じ條間に於る相互の關係はやはり撒播と同様接近して居りますから、尙發育の工合もよくありませんから、種子も多量に要しましてまだ完全なものとは申されません。

○點播、溝内に尙一定の間隔を於て播種するのであります。之は四圍に相當の間隔をもつて居りますから發育は自由に出來ます。而して點播と申しましたも同一穴に數個を入れますのでそこに一緒に發芽致しますと又互に發育を妨げられますからこれは輪狀に播くのであります。又それをさけます爲に一粒宛蒔きます時はたまたま發芽しないやうなことでもありますと、その部分は明いてその間隔を亂すやうな事になります。それ故植物の種類や土質、氣候、習慣などによりまして後の二つを適宜に行ふべきであります。

要するに直播を致します主なる注意と致しまし

ては、第一に圃場を充分に耕して原肥を施し、整地致しましてから播種するのでありますが、その方法は稍々多量に種子を蒔いておきまして、發育不良のものを間引きまして始めて目的の數になるやうに用意しておくのであります。

#### 四、播種後の管理

種子が發芽致しますには適當の水分と、温度とを要しますことは今改めて申し上げます程のことはありませんが是等を如何にして適度に致しますかと申しますに。

##### 1、圃場利用の場合

1、覆土の後からく鎮壓しましてから極細目の如露で充分に灌水致します。そして灌水の始めと終りは如露の口を必ず苗床の上から外すやうに注意せねばなりません。大きな雫のために孔を穿つて種子の位置を亂すやうなことがあるからです。